

## 注意と警告

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けないでください。
- ※運転者前方視界の妨げになる場所。フロントガラス、運転席・助手席のサイドガラス、及び三角窓。  
(詳しくは、当社HPの前方視界基準の説明ページをご確認ください。 <https://www.seikosangyo.co.jp/exea/ronvty/>)
- ※突起物として危険を生じる場所 (特にチャイルドシートの正面)。
- ※万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- ※安全装置 (エアバッグ・シートベルト等) の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
- お車の形状や素材により、取付けできない場合があります。
- 必ず、機器を収納する前に、本製品の取付け状態を確認してからご使用ください。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルダーができない場合は使用しないでください。
- スマートフォンにカバーやケースなど装着している場合、機器が不安定になり落下の恐れがあります。
- ※外すなどして、ご使用になる機器が安定することを必ず確認のうえ、ご使用ください。
- 本製品は下図の向きの上下から、または横向まで使用可能です。上下を逆さまにして使用はできません。
- スマホの重量に耐えられず、落下する危険があるためにおやめください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですにおやめください。
- 必ず車を安全な場所へ停車させてから接続・操作等を行ってください。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。
- 不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。
- 収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- 急発進・急ハンドル・急停止でも、収納物が落下する恐れがありますので充分ご注意ください。
- 収納物は振動や出入れでキズつく恐れがあります。キズつけないものは入れてください。
- 直射日光や高温になる場所でのご使用は、本製品及び車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 炎天下の車内でご使用になる機器を放置しないでください。
- 熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障の恐れがありますのでご注意ください。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害 (破損・キズ・変色・跡等) は、当社では責任・補償を負いかねます。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 本製品に因る取付けた機器の破損・消失 (ご使用になる機器のメモリー・データ) に関して、当社では責任を負いかねます。
- 必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

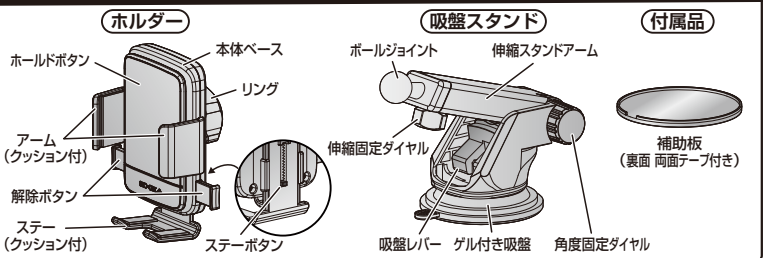


## 取付け前に

- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態で行ってください。
- 収納する機器の大きさに合わせて位置を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ず行ってください。
- 本製品は以下の場所を取付けることができません。  
※垂直面に近い場所や逆さま・ほこりや油分等のある場所・隙間・段差・繊維等の真空状態を保持できない場所への取付けはできません。
- 経年車の場合、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落の恐れがありますので取付けできません。
- 本製品をダッシュボードに取付けた際に吸着跡が残る場合があります。
- 再取付け時に吸盤の吸着ゲルを汚した時は、中性洗剤で洗い、水分の無い状態まで乾かしてから再度取付けを行ってください。
- 汚れや水分が残っていると確実な吸力が保持できません。
- 吸盤の吸着ゲルは極端な高・低温になると硬・軟質になり過ぎて取り外しが困難な場合があります。  
常温 (20°C ± 15°C) になってから取り外しを行ってください。
- 硬・軟質になったゲルを無理に取外すと接地面や製品を破損する恐れがあります。
- 長期間の連続した吸力は、真空状態が徐々に低下することがあるので、定期的に本製品を取付け直して確実な吸力を保持してください。
- 強い紫外線がある場所や車内の芳香剤によって吸盤ゲルが溶解する場合があります。取付場所に注意してください。



## 部品一覧と名称



## 製品の組立て\*、取付寸法について

\*製品の取付前に組立て作業が必要です。

### 1. 製品の組立て

- 次の手順でホルダーに吸盤スタンドを取付けます。
- ① ボール受けの内側にボールクッション (円形の軟質素材) が入っていることをご確認ください。(図-1)
- ※ 箱から取出す際に 取外したリング を用意する。
- ② 吸盤スタンドのボールジョイントにリングを掛ける。(図-2)
- ③ ボール受けにボールジョイントを差し込む。(図-2)
- ④ 再びリングをボール受けのネジに取付けて締める。(図-3)
- ※ 後で調節するため、ホルダーと吸盤スタンドが動かせられる程度に軽く締める。
- ① ボールクッションを確認する
- ② 差し込む
- ③ リングを掛ける
- ④ 軽く締める

### 2. 製品の収納・取付寸法について

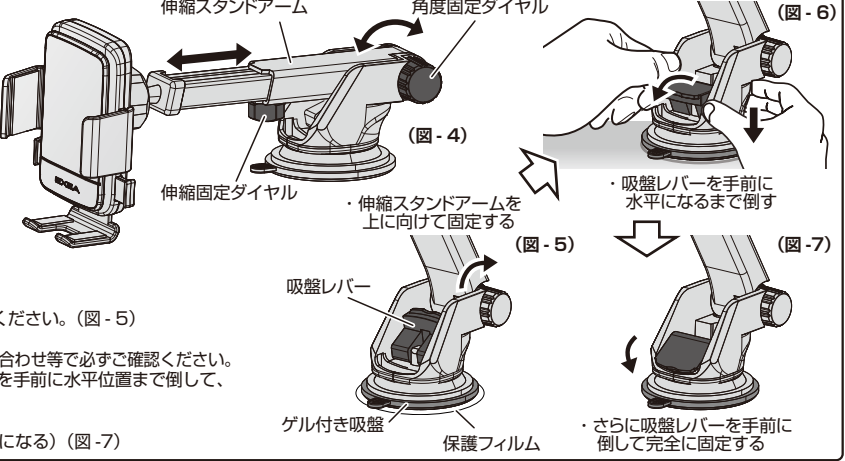
- ホルダーの収納範囲
- 吸盤スタンドの可動域と取付寸法

ホルダー 高さ: 62~86mm以内、厚さ: 13mm以内  
収納範囲 耐荷重: 300g ※ケースやストラップ等を含めた重さです。

## 吸盤スタンドの取付け、取外し、補助板について

### 3. 吸盤スタンドの取付け

- 車両に取付ける前に、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ず行ってください。
- ※何度も取付け直すと、ほこりやゴミが付着して、吸着力が低下します。
- ① 伸縮スタンドアームの伸縮調節について
- 伸縮スタンドアームの下部の伸縮固定ダイヤルを緩めると無段階で前後に伸縮できます。再び伸縮固定ダイヤルを締めると、固定されます。(図-4)
- ② 伸縮スタンドアームの角度調節について
- 伸縮スタンドアームの後部の角度固定ダイヤルを緩めると段階的に角度調節ができます。再び角度固定ダイヤルを締めると、固定されます。(図-4)
- ※可動部に指を挟まないようにご注意ください。
- ③ ゲル付き吸盤を取付ける。
- 吸盤レバーの操作の邪魔にならないように、伸縮スタンドアームを上に向けて固定してください。(図-5)
- 取付け場所の汚れ・ホコリ・油成分等を中性洗剤でよく落としてください。
- ※取付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせ等で必ずご確認ください。
- ゲル付き吸盤の保護フィルムをはがし、設置場所にゲル付き吸盤を押し付け、吸盤レバーを手前に水平位置まで倒して、仮固定します。(図-6)
- 向きや位置が正しくできているかを確認します。
- 問題なければ、吸盤レバーをさらに倒して完全に固定してください。(レバーが斜め位置になる) (図-7)



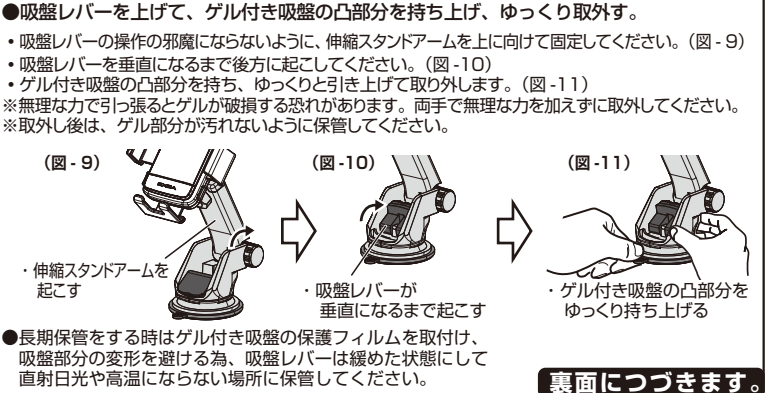
### 付属品:補助板を利用する場合

- ゲル付き吸盤を直接取付けにくい場合 (凹凸面など) に補助板を利用して、本製品を取付けます。
- 取付け場所の汚れ・ホコリ・油成分等を中性洗剤でよく落としてください。
- ※取付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせ等で必ずご確認ください。
- 補助板には切り欠き凹があり、ゲル付き吸盤の凸部分と一致させて取付ける必要があります。
- 必ず、貼付け前に、ゲル付き吸盤の取付け位置と方向をご確認ください。
- 補助板裏面の両面テープの剥離紙をはがして、設置場所に貼付けてください。(図-8)
- ※両面テープの接着力が発揮される目安は、貼付け 24 時間以降です。貼付け直後は接着力が弱いため、24 時間後に吸盤の取付けを行ってください。
- 3-③ の手順で、ゲル付き吸盤を補助板の上に貼付けてください。
- 剥離紙をはがして、貼付ける。その後24時間待つ



### 吸盤の取外しについて

- 吸盤レバーを上げて、ゲル付き吸盤の凸部分を持ち上げ、ゆっくり取外す。
- 吸盤レバーの操作の邪魔にならないように、伸縮スタンドアームを上に向けて固定してください。(図-9)
- 吸盤レバーを垂直になるまで後方に起こしてください。(図-10)
- ゲル付き吸盤の凸部分を持ち、ゆっくりと引き上げて取り外します。(図-11)
- ※無理な力で引っ張るとゲルが破損する恐れがあります。両手で無理な力を加えずに取外してください。
- ※取外後は、ゲル部分が汚れないように保管してください。
- 長期保管をする時はゲル付き吸盤の保護フィルムを取付け、吸盤部分の変形を避ける為、吸盤レバーは緩めた状態にして直射日光や高温にならない場所に保管してください。

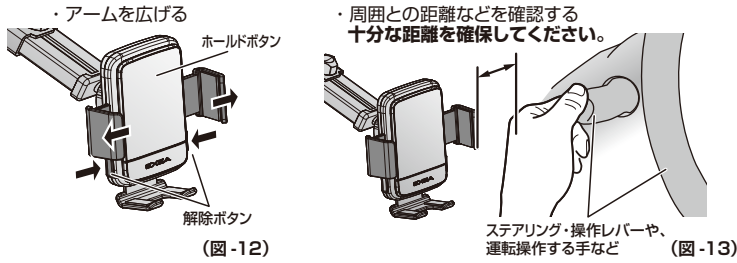


裏面につきます。

# 取付けについて

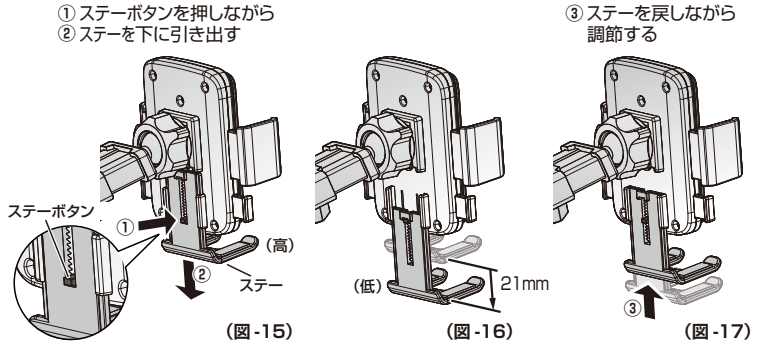
## 4. 周囲との干渉の確認

- 製品を固定したら、左右の解除ボタンを同時に内側に押し、アームを最大に開き、(図-12)周囲に干渉しないこと、運転操作の妨げ、前方視界の妨げにならないことをご確認ください。(図-13、14)
- 干渉・妨げがある場合は、取付位置を再検討して変更してください。
- ※ホールドボタンを押すとアームが勢いよく閉じますので、指を挟まないようご注意ください。
- ※必ずアームを閉じてから、取外し・取付け作業を行ってください。



## 5. ステーについて

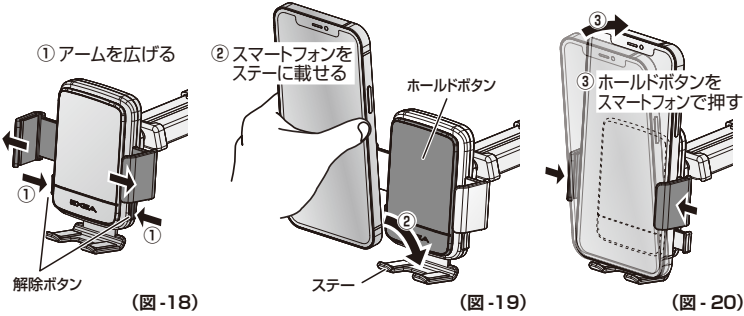
- ステーは、スマートフォンとホルダーの上下位置を調節するときに使用します。
- ※必要に応じて調節してください。(スマートフォン側面のボタンを避けたり、上下バランスをとるため等)
- ※工場出荷時は、一番上(高)になっています。
- ① ステーボタンを押しながら、
- ② ステーを一番下(低)まで引出します。(最大21mm下がる) (図-15、16)
- ※ 上に戻すときは、ステーボタンを押す必要はありません。
- ③ 丁度良い位置まで戻しながら調節してください。(図-17)
- ※ 段階的(1.5mm間隔)に固定できます。
- ※ 行過ぎてしまったら、再度ステーボタンを押しながら引出してください。



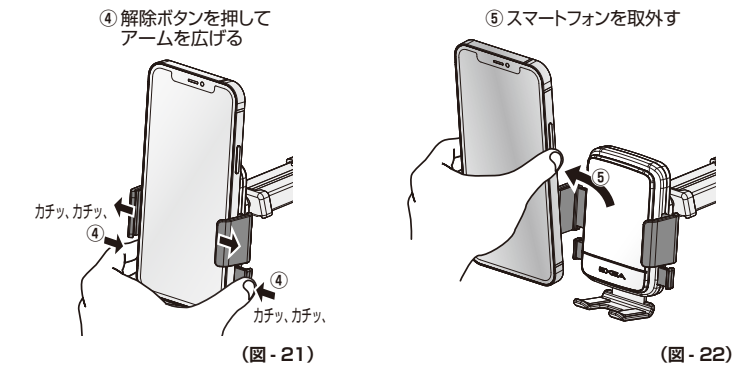
## 使用について【スマホの取付け・取外し】

### 6. 使用方法

- スマートフォンをセットする
- ① 前項5.と同様に、左右の解除ボタンを同時に内側に押しアームを開きます。(図-18)
- ※ ご使用になるスマートフォンの幅よりも、少し広く開いてください。
- ② ステーにスマートフォンを載せる。(図-19)
- ③ スマートフォンの背面でホールドボタンを押し、アームを閉じて固定する。(図-20)
- ※ 閉じるときにアームに指を挟まないようご注意ください。



- スマートフォンを取外す
- ④ 左右の解除ボタンを同時に押し、スマートフォンが取外せる位置まで開きます。(図-21)
- ※ 片側2山ずつ(カチッ、カチッ)程度開くと取外せる隙間になります。(図-21)
- ⑤ スマートフォンを取外す。(図-22)



### 使用上の注意事項

- 本製品は、右図(図-23)のように、スマートフォンを縦向きで使用することを前提としています。
- ホルダーを90°回転させて、スマートフォンを横向きでも使用可能ですが、その際は必ずステーを最大に引出してください。(図-24)
- また、できるだけスマートフォンをホルダーの均等な位置に取付けてください。(図-25)
- ※片寄った位置に取付けると、走行中の振動や不意に手が触れるなどの軽い衝撃でも回転したり、落下する恐れがあり、危険ですのでおやめください。(図-26)
- ※走行中の振動で、スレる可能性がありますのでご注意ください。
- 上下を逆さまにして使用はできません。(図-27)
- ※停車中にスマートフォンをホールド(保持)していても、走行中の振動で落下する危険があるので絶対におやください。

